

お客様各位

2019 年 11 月

富士電機株式会社

発紘電機株式会社

## 作画エディタ V-SFT ソフト不具合について

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて掲記の件、作画エディタ V-SFT に関しまして、下記の不具合があることが判明致しました。つきましては、その内容をご連絡申し上げます。貴社に大変ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

### 1. 対象型式

モニタッチ作画エディタ V-SFT-6/V-SFT-5

### 2. 不具合内容

モニタッチと富士電機製 PLC MICREX-SX との接続において、X/Y デバイスの操作、モニタができない。

### 3. 対象編集機種

V9 シリーズ/TS シリーズ/V8 シリーズ/V7 シリーズ/V6 シリーズ  
UG40 シリーズ/UG30 シリーズ/UG20 シリーズ

### 4. 発生条件

以下の 1)~6) の AND 条件に合致した場合に発生する不具合です。

- 1) 下記のバージョンの作画エディタ V-SFT を使用する。
  - ・ V-SFT-6 Ver.6.0.32.0 ~ Ver.6.0.34.0
  - ・ V-SFT-5 Ver.5.4.45.0
- 2) PLC 機種に富士電機：MICREX-SX で「N モード」または「F モード」を設定する。  
(=PLC ツールとして富士電機製「SX-Programmer Standard」を使用する。)  
※「SX-Programmer Expert」使用時は発生しません。
- 3) PLC において、リモート I/O マスタを「I/O 拡張モード：なし」に設定している。
- 4) PLC のシステム構成において、リモート I/O マスタの SX 局番を直結 I/O より若い番号に設定している。

正常時			
POW	CPU	直結 I/O	リモート I/O マスタ
		SX 局番:1	SX 局番:2

不具合発生時			
POW	CPU	リモート I/O マスタ	直結 I/O
		SX 局番:1	SX 局番:2

対象のリモート I/O マスタ

- ・ T リンクマスタ
- ・ OPCN-1 マスタ
- ・ DeviceNet マスタ
- ・ PROFIBUS-DP マスタ

- 5) 画面データで、上記 2) の直結 I/O の X/Y デバイスを配置している。
- 6) 画面データをモニタッチ本体に転送する。

※リモート I/O マスタが存在しない場合は発生しません。

※直結 I/O のみの場合は発生しません。

### 5. 原因

作画エディタに同梱している「MICREX-SX デバイス連携 DLL」の不具合です。V-SFT-6 Ver.6.0.32.0/V-SFT-5 Ver.5.4.45.0 で実施した不具合改善の影響により、X/Y デバイスのアドレスが正しくマッピングされない症状が発生します。

## 6. 不具合対象バージョン

V-SFT-6 Ver.6.0.32.0 (2019年5月9日リリース) ~ Ver.6.0.34.0 (2019年10月10日リリース)  
V-SFT-5 Ver.5.4.45.0 (2019年6月3日リリース)

## 7. 修正スケジュール

作画エディタV-SFT Ver.6.0.34.0 → **Ver.6.0.35.0 2019年11月1日(金) 出荷分から切替**  
作画エディタV-SFT Ver.5.4.45.0 → **Ver.5.4.46.0 2019年11月1日(金) 出荷分から切替**

## 8. 復旧方法

作画エディタ V-SFT Ver.6.0.35.0/V-SFT Ver.5.4.46.0 を使用し、画面データをモニタッチに再転送することで復旧できます。

## 9. V-SFT のアップデート

下記ホームページより作画エディタ V-SFT Ver.6.0.35.0/Ver.5.4.46.0 のダウンロードが可能です。

ホームページは 2019 年 11 月 1 日にアップします。

## 10. ホームページ URL

[www.hakko-elec.co.jp/site/support/download-index.html](http://www.hakko-elec.co.jp/site/support/download-index.html)

以 上